



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東
コード番号 6143 URL <https://www.sodick.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO 社長執行役員 (氏名) 坏 祐次
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 高木 正人 TEL 045-942-3111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|------|-------|---|-------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年12月期第1四半期 | 18,819 | 20.4 | 1,281 | — | 1,090 | — | 946 | — |
| 2024年12月期第1四半期 | 15,636 | △7.4 | △780 | — | △187 | — | △497 | — |

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △1,682百万円 (—%) 2024年12月期第1四半期 1,937百万円 (122.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期第1四半期 | 18.72 | — |
| 2024年12月期第1四半期 | △9.80 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2025年12月期第1四半期 | 135,855 | 81,978 | 60.3 | 1,620.25 |
| 2024年12月期 | 144,993 | 84,427 | 58.2 | 1,668.55 |

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 81,932百万円 2024年12月期 84,377百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期 | — | 14.00 | — | 15.00 | 29.00 |
| 2025年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年12月期(予想) | — | 14.00 | — | 15.00 | 29.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 77,400 | 5.1 | 4,300 | 92.7 | 3,800 | 4.8 | 2,900 | △29.5 | 57.35 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2025年12月期1Q | 54,792,239株 | 2024年12月期 | 54,792,239株 |
| 2025年12月期1Q | 4,224,759株 | 2024年12月期 | 4,223,169株 |
| 2025年12月期1Q | 50,568,046株 | 2024年12月期1Q | 50,740,145株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (収益認識関係) | 11 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、インフレ減速による消費の回復基調がみられるものの、中国の景気減速、不安定な為替相場、ウクライナや中東情勢などの地政学的リスクの継続に加え、米国の関税政策の影響により先行きの不透明感が高まっております。

業種別では自動車産業においては日米欧の生産調整・投資計画の見直しの長期化による低迷が継続する一方でデータセンター向けの半導体・電子部品・コネクタや中華圏でのスマートフォンなどの需要は好調に推移しております。

このような経済環境のもと、当社グループは「中期経営計画」を策定し「中国市場依存脱却」、「選択と集中」、「生産、販売体制をグローバルで再構築」、「バランスシート改善」を方針として掲げ、グループ全体での構造改革に取り組んでおります。工作機械事業においては中国の蘇州工場の生産の厦門工場への集約、海外工場の生産調整に伴う人員適正化を実施、産業機械事業においては高付加価値機種販売へ注力し、食品機械事業においては製麺機・米飯装置以外の分野に向けた新製品の開発強化に加え、グループ全体での経費削減の徹底や遊休資産の売却等の対応を進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高188億19百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。利益面におきましては、営業利益12億81百万円（前年同四半期は営業損失7億80百万円）、経常利益10億90百万円（前年同四半期は経常損失1億87百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億46百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億97百万円）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

| | | | |
|--|------|-----------|--------------------|
| 工作機械事業 | 売上高 | 13,489百万円 | (前年同期比 17.6%増) |
| | 営業利益 | 1,605百万円 | (前年同期比 1,661百万円増) |
| <p>中華圏全体における市況全体は軟調ではあるものの、NEV車、スマートフォン、データセンター向け光コネクタ、電子部品などの一部業界の需要は堅調に推移しました。また、日本、欧米、韓国において航空宇宙、医療関係の堅調な需要が継続したため、売上高は前年同期比で増加となりました。</p> <p>セグメント利益は、中国の生産集約化、人員配置の適正化の継続に加え、生産台数増加による工場稼働率の向上などにより前年同期比で大幅に増加しました。</p> <p>ものづくりの高度化は今後も継続するとみられ、当社としては高速・高精度加工に強みのある放電加工機の一層の拡販に加え、レーザー加工機の開発・販売、イタリアの金属3DPメーカーの子会社化による販路拡大など高付加価値加工ニーズへの取り組みを進めております。</p> | | | |
| 産業機械事業 | 売上高 | 2,355百万円 | (前年同期比 18.1%増) |
| | 営業利益 | 65百万円 | (前年同期比 60百万円減) |
| <p>自動車関連において設備投資の先送りがみられる一方で、日本、中華圏、米国でのデータセンター向け光コネクタやスマートフォン向けの需要が堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。</p> <p>セグメント利益は、構造改革である高付加価値モデルへのシフトを進めているものの、人件費の増加や組織変更に伴う経費負担の見直しなどの影響もあり前年同期比で減少しました。</p> | | | |

| | | | |
|---|------|----------|------------------|
| 食品機械事業 | 売上高 | 1,535百万円 | (前年同期比 78.8%増) |
| | 営業利益 | 314百万円 | (前年同期比 360百万円増) |
| <p>国内外における製麺機関連設備や無菌包装米飯製造装置等の需要が堅調に推移しており、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。</p> <p>市況としては中華圏、韓国、東南アジアを中心とした海外市場にて食の高品質化やインフラの整備等で生麺や米飯の需要が高まっており、さらに欧米などの新たな地域への営業活動を展開いたします。日本においては米飯・製麺設備の更新需要を中心に安定した需要が継続しております。</p> | | | |
| その他 | 売上高 | 1,440百万円 | (前年同期比 9.8%増) |
| | 営業利益 | 32百万円 | (前年同期比 154百万円増) |
| <p>精密コネクタなどの受託生産を行う金型成形事業、リニアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されております。</p> <p>金型成形事業においては自動車関連向けの需要は低調さが継続しているものの、リニアモータやLED投光器関連の販売が進んだことにより、売上高は前年同期比微増となりました。</p> | | | |

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、91億37百万円減少し、1,358億55百万円となりました。主な減少要因としては、現金及び預金の減少44億64百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少17億10百万円、その他の流動資産の減少14億93百万円、商品及び製品の減少13億26百万円などがあげられます。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、66億88百万円減少し、538億77百万円となりました。主な減少要因としては、短期借入金の減少20億円、長期借入金の減少19億31百万円、電子記録債務の減少14億95百万円、支払手形及び買掛金の減少13億48百万円などがあげられます。

純資産は前連結会計年度末と比較して、24億49百万円減少し、819億78百万円となりました。主な減少要因としては、為替換算調整勘定の減少27億66百万円などがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 47,762 | 43,297 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 16,969 | 15,258 |
| 電子記録債権 | 2,220 | 2,589 |
| 商品及び製品 | 11,102 | 9,776 |
| 仕掛品 | 9,641 | 9,769 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,879 | 10,484 |
| その他 | 3,328 | 1,834 |
| 貸倒引当金 | △381 | △328 |
| 流動資産合計 | 101,522 | 92,683 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 37,070 | 36,606 |
| 機械装置及び運搬具 | 25,670 | 25,058 |
| その他 | 17,237 | 17,182 |
| 減価償却累計額 | △47,740 | △47,082 |
| 有形固定資産合計 | 32,238 | 31,764 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 714 | 661 |
| その他 | 1,505 | 1,372 |
| 無形固定資産合計 | 2,220 | 2,034 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 427 | 454 |
| その他 | 8,612 | 8,946 |
| 貸倒引当金 | △27 | △27 |
| 投資その他の資産合計 | 9,012 | 9,373 |
| 固定資産合計 | 43,471 | 43,172 |
| 資産合計 | 144,993 | 135,855 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,574 | 4,226 |
| 電子記録債務 | 6,040 | 4,544 |
| 短期借入金 | 4,245 | 2,244 |
| 1年内償還予定の社債 | 140 | 140 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,645 | 8,391 |
| 未払法人税等 | 475 | 448 |
| 契約負債 | 3,855 | 4,308 |
| 引当金 | 1,091 | 1,026 |
| その他 | 4,371 | 4,545 |
| 流動負債合計 | 34,440 | 29,875 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 160 | 160 |
| 長期借入金 | 23,963 | 22,031 |
| 引当金 | 98 | 99 |
| 退職給付に係る負債 | 746 | 615 |
| 資産除去債務 | 69 | 69 |
| その他 | 1,089 | 1,026 |
| 固定負債合計 | 26,126 | 24,001 |
| 負債合計 | 60,566 | 53,877 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 24,618 | 24,618 |
| 資本剰余金 | 9,717 | 9,717 |
| 利益剰余金 | 34,888 | 35,069 |
| 自己株式 | △3,134 | △3,135 |
| 株主資本合計 | 66,090 | 66,270 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,366 | 1,458 |
| 為替換算調整勘定 | 16,842 | 14,076 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 78 | 127 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,286 | 15,662 |
| 非支配株主持分 | 50 | 46 |
| 純資産合計 | 84,427 | 81,978 |
| 負債純資産合計 | 144,993 | 135,855 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 15,636 | 18,819 |
| 売上原価 | 11,120 | 12,212 |
| 売上総利益 | 4,516 | 6,607 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 人件費 | 2,374 | 2,471 |
| 貸倒引当金繰入額 | △39 | △38 |
| その他 | 2,962 | 2,892 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 5,296 | 5,325 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △780 | 1,281 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 132 | 94 |
| 受取配当金 | 80 | 12 |
| 為替差益 | 644 | — |
| 持分法による投資利益 | 25 | 149 |
| 助成金収入 | 8 | 32 |
| その他 | 62 | 115 |
| 営業外収益合計 | 953 | 404 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 91 | 111 |
| 為替差損 | — | 452 |
| シンジケートローン手数料 | 190 | — |
| その他 | 79 | 31 |
| 営業外費用合計 | 361 | 595 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △187 | 1,090 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 30 | 14 |
| 補助金収入 | 28 | 46 |
| 移転補償金 | 39 | — |
| 特別利益合計 | 97 | 60 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 10 |
| 固定資産除却損 | 83 | 9 |
| 事業構造改善費用 | 423 | 64 |
| その他 | 36 | — |
| 特別損失合計 | 543 | 84 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △633 | 1,066 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 106 | 304 |
| 法人税等調整額 | △241 | △182 |
| 法人税等合計 | △134 | 121 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △498 | 944 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △1 | △1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △497 | 946 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △498 | 944 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 386 | 92 |
| 為替換算調整勘定 | 1,979 | △2,695 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 48 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 70 | △72 |
| その他の包括利益合計 | 2,436 | △2,627 |
| 四半期包括利益 | 1,937 | △1,682 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,936 | △1,678 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | △4 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 886百万円 | 835百万円 |
| のれんの償却額 | 31 | 31 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|------|------------------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | 報告 セグメント 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,471 | 1,994 | 859 | 14,324 | 1,311 | 15,636 | — | 15,636 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9 | 34 | — | 43 | 403 | 447 | △447 | — |
| 計 | 11,480 | 2,028 | 859 | 14,368 | 1,715 | 16,083 | △447 | 15,636 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △56 | 126 | △45 | 24 | △121 | △97 | △682 | △780 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△682百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△712百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|-------|-------|------------------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | 報告 セグメント 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,489 | 2,355 | 1,535 | 17,379 | 1,440 | 18,819 | — | 18,819 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 34 | 10 | 0 | 44 | 430 | 475 | △475 | — |
| 計 | 13,523 | 2,365 | 1,535 | 17,424 | 1,870 | 19,295 | △475 | 18,819 |
| セグメント利益 | 1,605 | 65 | 314 | 1,985 | 32 | 2,018 | △736 | 1,281 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△736百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△698百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 |
|----------------|---------|-------|------|--------------|--------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | | |
| 製品販売 | 8,252 | 1,601 | 580 | 1,311 | 11,747 |
| 保守サービス・ 消耗品 | 3,219 | 392 | 278 | — | 3,889 |
| 合計 | 11,471 | 1,994 | 859 | 1,311 | 15,636 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. グループ間の内部取引控除後の金額を表示しております。

2. 地域別の内訳

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 2 | 合計 |
|--------|---------|-------|------|--------------|--------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | | |
| 日本 | 2,362 | 741 | 594 | 1,285 | 4,985 |
| 北・南米 | 2,601 | 258 | 6 | — | 2,866 |
| 欧州 | 1,971 | 92 | — | — | 2,063 |
| 中華圏 | 3,219 | 583 | 55 | 26 | 3,884 |
| その他アジア | 1,316 | 317 | 201 | — | 1,836 |
| 合計 | 11,471 | 1,994 | 859 | 1,311 | 15,636 |

(注) 1. 国または地域別の収益は顧客の所在地に基づき、分解しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

3. グループ間の内部取引控除後の金額を表示しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 財又はサービスの種類別の内訳

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 |
|----------------|---------|-------|-------|--------------|--------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | | |
| 製品販売 | 10,044 | 1,973 | 1,308 | 1,440 | 14,766 |
| 保守サービス・ 消耗品 | 3,444 | 381 | 227 | — | 4,053 |
| 合計 | 13,489 | 2,355 | 1,535 | 1,440 | 18,819 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. グループ間の内部取引控除後の金額を表示しております。

2. 地域別の内訳

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 2 | 合計 |
|--------|---------|-------|-------|--------------|--------|
| | 工作機械 | 産業機械 | 食品機械 | | |
| 日本 | 2,543 | 1,029 | 1,053 | 1,368 | 5,996 |
| 北・南米 | 2,657 | 387 | 11 | 0 | 3,057 |
| 欧州 | 1,645 | — | — | — | 1,645 |
| 中華圏 | 4,939 | 539 | 308 | 70 | 5,858 |
| その他アジア | 1,702 | 398 | 162 | — | 2,262 |
| 合計 | 13,489 | 2,355 | 1,535 | 1,440 | 18,819 |

(注) 1. 国または地域別の収益は顧客の所在地に基づき、分解しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

3. グループ間の内部取引控除後の金額を表示しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年4月18日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」という。）を行うことについて、下記の決議内容のとおり決議致しました。

1. 処分の概要

| | 決議内容 | | |
|------------------|----------------------|-----|---------|
| (1) 払込期日 | 2025年5月16日 | | |
| (2) 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 82,900株 | | |
| (3) 処分価額 | 1株につき711円 | | |
| (4) 処分総額 | 58,941,900円 | | |
| (5) 処分予定先 | 当社の取締役（※） | 4名 | 14,600株 |
| | 当社の執行役員 | 9名 | 14,800株 |
| | 当社の従業員 | 60名 | 47,700株 |
| | 子会社の取締役 | 2名 | 2,100株 |
| | 子会社の執行役員 | 7名 | 3,700株 |
| | ※非業務執行取締役及び社外取締役を除く。 | | |

2. 処分の目的及び理由

当社は、2019年2月14日開催の取締役会において、当社の取締役（非業務執行取締役及び社外取締役を除く。以下、「対象取締役」という。）が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、当社を対象取締役に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入することを決議いたしました。

また、2025年3月28日開催の第49回定時株主総会において、本制度に基づき、当社を対象取締役に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額100百万円以内として設定すること、当社を対象取締役に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は200,000株を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間として10年間から30年間までの間で当社取締役会が定める期間とすること等につき、ご承認をいただいております。

それを受けて、当社は、2025年4月18日開催の取締役会において、当社の執行役員及び従業員、当社子会社の取締役、執行役員に対し、本制度と同様の譲渡制限付株式報酬制度を付与すること、第49回定時株主総会から2026年3月開催予定の第50回定時株主総会までの期間に係る譲渡制限付株式報酬として、割当予定先である当社を対象取締役4名、当社の執行役員9名、当社従業員60名及び子会社取締役2名、子会社の執行役員7名（以下、「割当対象者」という。）に対し、金銭報酬債権合計58,941,900円を支給し、割当対象者が当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法によって給付することにより、特定譲渡制限付株式として当社普通株式82,900株を割り当てることを決議いたしました。

各割当対象者に対する金銭報酬債権の額は、当社に対する各割当対象者の貢献度等諸般の事項を総合的に勘案の上、決定しております。

3. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分における処分価額につきましては、恣意性を排除した価格とするため、当社取締役会決議日の直前営業日（2025年4月17日）の東京証券取引所における当社普通株式の終値である711円としております。これは、当社取締役会決議日直前の市場株価であり、合理的かつ特に有利な価額には該当しないものと考えております。